

	建設基本計画による病院の役割・診療機能等		修正点
	新病院の整備方針 【建設基本計画P2より】	新病院の診療機能 【建設基本計画概要版P5より】	
	地域における役割	各領域における診療機能の概要	
<p>1 地域型病院として担う急性期医療</p> <p>(1) 高齢者を中心とした救急医療機能</p> <p>(2) 地域の医療資源や連携等を踏まえた急性期機能</p>	<p>ア 複数疾患を抱える高齢患者の増加が見込まれるので、全人的全人生医療の提供を行えるよう体制を整備する。</p> <p>イ 松本西部地域の基幹病院としての役割を果たす。</p>	<p>ア 一般診療</p> <p>(ア) 総合診療</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な診療能力を有する総合診療医を外来へ配置する。 <p>(イ) 悪性腫瘍</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術療法や薬物療法は可能な範囲で担い、専門性の高い分野や放射線治療は高度医療機関と連携する。 <p>(ウ) 生活習慣病・機能性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> 高血圧・循環器疾患、呼吸器疾患、糖尿病・脂質異常、腎疾患、脳神経疾患、運動機能疾患、歯科・口腔疾患、排尿障害、肝疾患について十分な体制を整備する。 <p>イ 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域に根差した救急体制を目指し、一次、二次救急患者に対応する。 <p>ウ 災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 傷病者の24時間受入体制の構築や、BCPの構築、災害医療従事者の育成など、災害対応病院としての機能を確保する。 	
<p>2 地域型病院として担う回復期医療</p> <p>(1) 在宅や介護施設への円滑な移行を支える機能</p>	<p>ウ 地域密着型の在宅療養支援病院として、西部地域の地域包括ケアシステムの一翼を担う。</p>	<p>ア 一般診療</p> <p>(ア) 総合診療</p> <ul style="list-style-type: none"> 上に同じ <p>(ウ) 生活習慣病・機能性疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> 上に同じ <p>ク 予防医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 松本市の政策に沿った特色ある検診体制を構築する。 フレイル予防は、関係機関と連携し、全市的な取組みとするとともに、フレイル予防センターを設置する。 <p>ケ 終末期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアに対応可能な病床を設置する。 <p>コ 在宅医療・在宅支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムにおける地域連携の中心的な役割を担いながら、関係機関との連携のもと、多職種・多分野が関わる体制を整備する。 	
<p>3 地域型病院として担う在宅医療支援と地域連携</p> <p>(1) 訪問診療、訪問看護等による在宅医療支援</p> <p>(2) 在宅や介護施設等との連携</p>	<p>オ 認知機能の予防も含めた全市的なフレイル予防センター機能を備える。</p>		
<p>4 公立病院として担う政策医療</p> <p>(1) 不採算であっても地域に不可欠な医療（小児、周産期、災害、感染症、救急、へき地）</p>	<p>エ 公立病院として、周産期医療、小児医療、へき地医療、感染症医療、救急医療などの政策医療を担う。</p>	<p>エ へき地医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療所医師のバックアップ機能など、今後も山間地に居住する市民が必要な医療を継続的に受療できるよう支援する。 診療情報の共有など、医科・歯科と連携する。 <p>オ 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 出産を担う病院の一つとして、継続して医療を提供できる体制を整備する。 ハイリスク妊娠、ハイリスク新生児は、他病院との連携により対応する。 <p>カ 小児医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児救急や感染症などの急性期患者に対応するための体制及び施設整備を行う。 <p>キ 感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二種感染症指定医療機関としての役割を担うための体制及び施設整備を行う。 一般感染症から新興感染症まで幅広く対応するため、各種感染症を想定した外来機能・入院機能を整備する。 	

新病院の役割・診療機能等

	答申の方向性		備 考
	新病院の整備方針	新病院の診療機能	
	地域における役割	各領域における診療機能の概要	
<p>1 地域型病院として担う急性期医療</p> <p>(1) 高齢者を中心とした救急医療機能</p> <p>(2) 地域の医療資源や連携等を踏まえた急性期機能</p>			
<p>2 地域型病院として担う回復期医療</p> <p>(1) 在宅や介護施設への円滑な移行を支える機能</p>			
<p>3 地域型病院として担う在宅医療支援と地域連携</p> <p>(1) 訪問診療、訪問看護等による在宅医療支援</p> <p>(2) 在宅や介護施設等との連携</p>			
<p>4 公立病院として担う政策医療</p> <p>(1) 不採算であっても地域に不可欠な医療（小児、周産期、災害、感染症、救急、へき地）</p>			